

長寿を祝い敬老会

多彩な催しにウツトリ五八〇人

第二十四回町敬老会は、十月十九日、横芝小学校体育館を会場に、町内のお年寄り一、〇三七人（参加五八〇余人）を招待して盛大に行われました。

式典は、午前十時半、海保豊蔵町社会福祉協議会副会長の開式のことばで始まり、佐瀬町長、伊東巖町社会福祉協議会長が長寿を祝福するあいさつの後、町内八五歳以

上の高齢者（七六名）および金婚者（一一組）の紹介、続いて早知事（松井山武支庁長が代理）を始めとする各来賓の方々が祝辞、最後に小川文雄さん（遠山）がお年寄りを代表してお礼のことばを述べて終了しました。

この後、社食を取りながらの余興見物。勇壮で、しかもユーモア溢れる屋形十二面神楽保存会、鳥

喰下大神楽保存会の獅子舞や御囃子、老人ホームのお年寄り達による若さいっぱいの舞踊と民謡、そして浪曲の五月一朗（NHK専属）や民謡の斉藤京子（ポリドールレコード）など、一流芸能人を呼んでの演芸は、時のたつのを忘れるほどの盛況で、会場のおじいちゃん、おばあちゃん達は、手拍子を打ったり、笑ったり楽しい一日を過ごしました。



自慢のノドを披露するポリドールレコードの斉藤京子



▲ 民謡に合わせて手拍子。（一流芸能人の演芸にお年寄りたちは堪能したようだ。）

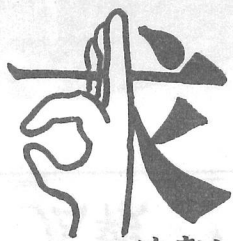
（せんきよ）だより（その8）

選挙になると「五当三落」とか「選挙には「かんばん」「じばん」「かばん」の三ばんがものをいう」とかい言葉をよく見たり聞いたりします。

現在の選挙法では、もちろん酒を飲ませたり、金銭や物を配って有権者を買収して投票を得るという方法は禁じられています。それにもかかわらずこのような違反が多数でるといっているのはいったいどこに狂いがあるのでしょうか。

選挙とお金

選挙はフェアに公正に行われなければなりません。このため選挙法では法定選挙費用といって、選挙運動中に使用できる費用の最高額を定めています。その金額は、選挙の種類、選挙区の有権者の数などによって異なっています。



めない

これを思うと、私たち有権者はここでもう一度「選挙とお金」という問題について真剣に考えてみる必要がありましょう。

政治がよくなるのも悪くなるのも選挙の善悪にかかっているといえます。

根深いものとなっている「選挙とお金の危険な関係」をたち切るにはどうしたらよいか、じっくりみんなで考えてみましょう。

しかし、それと同時にお金をばらまいても効果のないようにすることも必要ではないでしょうか。選挙はお祭りみたいなもの、だから選挙のとき、多少の酒を飲ませてもらったり、ご馳走になったりしてもいいではないかという気持ちをもっている人も中にはいるのではないのでしょうか。

